

ユニバーサルデザインの考え方を進めるために

(健康福祉政策課)

(社会背景)

少子高齢化の進行、労働力・人口の減少、地域のつながりが希薄化
個人だけで解決できない課題の増加（生活困窮、認知症、近隣トラブルなど）

(国の考え方)

地域共生社会の実現（高齢者、障害者、子どもをはじめ誰もがお互いに支え合う）
一億総活躍社会の実現（誰もが生きがいを感じられることができる社会づくり）

(法律改正) バリアフリー法の一部改正

(国の計画) ユニバーサルデザイン2020

[2つの視点]

- ・「心のバリアフリー」の推進
- ・ユニバーサルデザインの街づくり（バリアフリーからユニバーサルデザインへ）

(滋賀県の方向)

国連の持続可能な社会の実現のための開発目標SDGs (エス・ディー・ジー・ズ)

- ・ 誰一人取り残さない社会の実現を目指して
- ・ すべての人に居場所と出番

具体的にどのようなことに取り組んでいくか

<例えば> (次の項目は、本日の会議で参考にさせていただく例示です。>

①好きな時に好きな場所に行けるしくみづくり

(ユニバーサルツーリズムの実現)

- ・ 旅行、レジャー、勉強会、社会貢献（ボランティア）など、さまざまな移動支援等について安心して総合的に相談・調整できる窓口の設置

②さまざまな人が意見・評価等を行う仕組みづくり

(公共施設・公共交通などの接遇の向上)

- ・ 高齢者、障害のある人、子ども、外国人などが、地域で普通に暮らせるた

- め、当事者が意見し・評価する会議のコーディネーターの設置
- ・パーキングパーミット制度の一層の理解と協力を広げるため、制度利用者と公共機関・商業施設などの施設管理者が意見交換

(※パーキングパーミット制度：高齢者、障害のある人、妊婦、けが人等で歩行が困難で移動に配慮が必要な人の外出を促進するため、専用の駐車場区画を設置し対象者の優先利用を図るもの。マナーの向上を図る。)

③わかりやすい情報が得られるしくみづくり

(スマートフォンなど通信機器の活用)

- ・地域のバリアフリー・ユニバーサルデザインがわかる地図
- ・地域で高齢者や障害者など各種支援をしている人・事業者リスト

④ユニバーサルデザインの考え方を理解し発信するしくみづくり

(理解を深める機会の確保)

- ・当事者によるマナー講師の派遣
- ・好事例を個人・企業を問わず積極的にPR (イメージアップ作戦)